

八戸ポータルミュージアムの事業について（復興関係）

1. 自主事業実施状況について

(1)アートイベントプロデュース入門講座

a.事業概要

まちの活性化のためのイベントを開催したいと考えている熱意のある方々を対象とするアートイベントをプロデュースするためのノウハウを学ぶ講座を開催。

b.実施内容

■講座

- ・期間：平成24年9月27日（木）から月1～2回程度実施。
- ・場所：共同スタジオなど
- ・受講者数：24人
- ・内容：吉川ディレクターを講師とし、イベントを成功させるためのノウハウを学ぶ講座や、舞台技術の基礎実習、魅力的な空間探しワークショップなどを行いながら、講座参加者が企画書を作成した。

■公開プレゼンテーション大会

- ・日時：平成25年3月23日（土）13:30～17:00
- ・場所：シアター2
- ・内容：半年間の成果として、講座参加者が考案した企画を、公開の場で発表。観客の投票により、優秀な企画を3つ選出し、表彰を行った。



(2)アーティスト・イン・レジデンス事業（はっち流騎馬打毬）

a.事業概要

KOSUGE1-16（土谷亨・車田智志乃によるアーティストユニット）が八戸の伝統文化である「騎馬打毬」と、市内の学校で取り組まれている「ロボコン」を素材に、はっちのレジデンスに滞在し、巨大な騎馬打毬ゲームを市民と一緒に制作。通年で断続的に事業を進行、騎馬打毬ゲームの発表展示を行った。騎馬打毬ロボット制作にあたり学校を巻き込んだり、大会に向けて中心商店街をタニマチとして巻き込むなど、多様な方々から参加していただき、アートで新しいコミュニティを形成した。

b.実施内容

■初心者向け騎馬打毬講座

- ・日時：平成24年7月26日（木）18:30～20:00
- ・場所：はっちひろば
- ・内容：加賀美流騎馬打毬のルールや歴史、観戦方法などをレクチャーする、初心者向けの講座を実施。

■加賀美流騎馬打毬をみんなで見に行こうツアー

- ・日時：平成24年8月2日（木）13:00～16:30
- ・場所：長者山新羅神社 馬場
- ・内容：丁寧なルール説明等があり初心者も楽しめる騎馬打毬ツアーを実施。

■「はっち流騎馬打毬」スタート展

- ・日時：平成24年7月30日（日）～8月16日（木）9:00～21:00
- ・場所：ギャラリー1
- ・内容：ロボット試作品の展示、騎馬打毬の公開映像編集など。

■騎馬ロボット制作ワークショップ

- ・日時：平成25年1月26日（土）、27日（日）、2月2日（土）、3日（日）
- ・場所：共同スタジオ
- ・内容：大会参加者によるロボット制作ワークショップ。

■上映会「馬と人間」

- ・日時：平成25年2月1日（金）～3日（日）
- ・場所：シアター1
- ・内容：大澤未来監督が、八戸と近隣に今も根付く馬文化に、騎馬打毬をきっかけとしながら半年以上にわたって迫ったドキュメンタリーの上映。

■はっち流騎馬打毬トーナメント大会

- ・日時：平成25年2月11日（月祝）9:00～16:00
- ・場所：はっちひろば、シアター1
- ・内容：クラスメートや職場の仲間、親子など、様々な構成の20チームが参加し、ロボットを操りながら郷土の誇る伝統文化を身体を通して共有できるトーナメント大会を開催。



(3)アーティスト・イン・レジデンス公募事業

a.事業概要

アーティスト公募を通じてはっちのレジデンス機能や施設の特徴などを全国に発信し、注目度を高めるとともに、新たなアーティスト・人材の発掘・ネットワーク構築により、地域に新しい創造的活動をもたらすため、はっちのレジデンスに滞在してアートプロジェクトを実施していただけるアーティストを全国から公募・選定し、平成25年度に事業を実施する。

b.実施内容

■アーティストの公募・選定

- ・募集期間：平成24年8月29日（水）～11月30日（金）
- ・選考期間：12月～2月
- ・アーティスト決定：3月6日（水）
- ・25年度について：9～11月の間に選定アーティストにはっちでレジデンスしていただき、創作活動・作品展示を行っていただく。
（東京在住のアーティストユニット「ポーワング」を招聘）

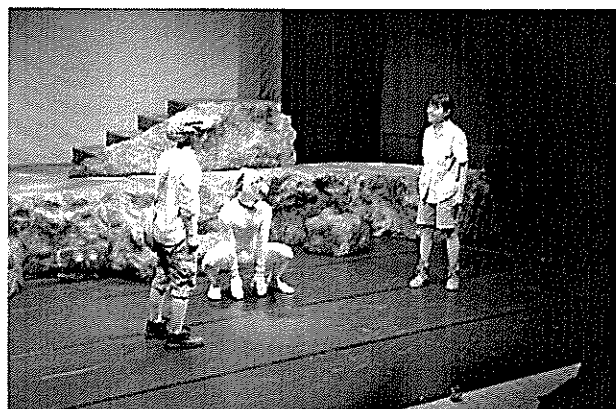
(4)はちのへ演劇祭

a.事業概要

かつての「演劇の盛んなまち」の再興を目指し、市内の社会人や高校演劇関係者が集結し、新たに演劇に関わりたい市民を公募して、市民創造型の演劇祭を開催する。

b.実施内容

- ・ 期間：平成24年10月23日（火）～11月11日（日）
- ・ 場所：シアター2
- ・ 内容：3週間にわたり演劇を上演。第1週は社会人による短編演劇を毎日上演、第2週は高校演劇を週末に上演、第3週は社会人や高校生による長編演劇を週末に上演した。
- ・ 実施主体：はちのへ演劇祭実行委員会



(5)ものづくりスタジオ支援事業

① HAND! FOOD! MUSIC! in イオン下田（アウトリーチ）

a.事業概要

はっち館内の「ものづくりスタジオ」の魅力をアピールし、はっちへの集客を図るとともに、市民の「ものづくり」への興味を喚起するため、ワークショップやアウトリーチを実施。

b.実施内容

- ・ 日時：平成24年6月30日（土）～7月1日（日） 11:00～16:00
- ・ 場所：イオンモール下田
- ・ 内容：郊外のショッピングセンターに出張し、ものづくり体験ワークショップを通して「はっち」のものづくりスタジオの周知宣伝・営業活動を実施。



②ものlabo（ものラボ）

a.事業概要

はっち館内の「ものづくりスタジオ」の魅力をアピールし、はっちへの集客を図るとともに、市民の「ものづくり」への興味を喚起するため、本格的に楽しく学べる半年間のスクール事業を実施。

b.実施内容

- ・期間：平成24年10月1日（月）～平成25年3月31日（日）
- ・場所：館内
- ・内容：ものづくりスタジオ入居者を講師とし、半年間の長期にわたって本格的な技を学べる講座（全18講座）を開催。



③手仕事人の小さな暮らふと市（ミニクラフト市）

a.事業概要

ものづくり文化・価値の普及と、若手ものづくり作家の支援を目的とし、八戸市内及び近郊で活動しているものづくり作家を一堂に会してのクラフト市を開催。

b.実施内容

- ・期間：平成25年3月23日（土）～24日（日）
- ・場所：1階はっちひろば、ギャラリー1
- ・内容：陶磁器や木工、布製品、雑貨などの幅広いジャンルにわたるクラフト作家21名が参加してのクラフト市開催と、こけ玉作りやステンドグラス体験などのワークショップを開催。



(6)アーカイブ本制作

a.事業概要

震災からの復興を対外的に発信することにより、注目度や関心を高めることで来街者を増やし、賑わいの創出に結びつけるため、「はっち」でこれまで実施してきた自主事業や貸館事業の記録をアーカイブ本として取りまとめ、発行する。

b.実施内容

- ・アーカイブ本発行：平成24年12月28日
 - ・発行部数：1,000冊
 - ・平成24年度販売・贈呈部数
 - 販売…64冊（観光客、視察者、市民など）
 - 贈呈…347冊（アーティストや市民など事業関係者、国等の関係機関など）
-
- 合計…411冊

(7)ホームページでの情報発信

a.事業概要

「はっち」の自主事業を対外的に情報発信し、地域の元気づくりに寄与し、震災からの復興を強くアピールするため、ホームページを開設・運営する。

2. 事業の実施効果について

自主事業のほか、会所場づくりや貸館事業などを一体的に展開してきた結果、年間65万人を見込んでいた来館者数は開館1年で計画を大きく上回る88万人を達成したほか、中心市街地の歩行者通行量は平成22年度比で30%の増加、中心市街地への新規出店者数は52件のほり、大型民間構想や空きビルの再利用計画が相次いで浮上するなどの動きが出ている。

また、中心商店街の関係者の意識にも変化がみられ、「横丁ウィーク」や「打ち水大作戦」など、個性的で魅力ある八戸の顔としての中心街形成に向けた自主的な取組が行われるようになるなど、中心街のハード・ソフトの両面において「はっち」の開館効果が着実に現れてきている。

「はっち」の来館者数	平成23年2月11日オープン（来館者目標数65万人） →1年後の平成24年2月11日に888,888人達成 →平成25年5月15日 来館200万人達成
八戸市中心街の歩行者通行量 （平成23年度調査）	中心市街地全体 30%増（平成22年度比） 三日町 90%増（平成22年度比）
八戸市中心街の新規事業所	52事業所（店舗含む）開設 （平成23年2月11日～平成25年3月31日）
24のマーケット項目毎の市民満足度 （平成21年度と24年度の比較）	中心市街地の賑わい回復0.84→1.15（伸び率36.9%） 24項目中で一番の伸び率
はっちの視察者数 ※上記来館者の内数	278件 4,707人（23年5月～25年3月） ※視察申込があった件数及び人数